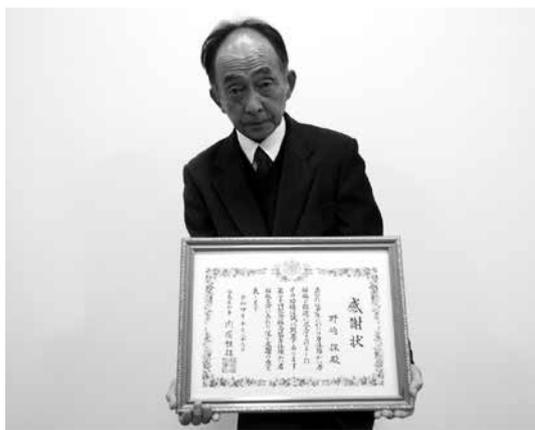


野崎保さん（上蓬田）が 福島県知事感謝表彰を受賞

第70回記念福島県身体障がい者福祉大会が10月26日、二本松市民会館で開催されました。

大会では、野崎保さん（上蓬田）が多年にわたり、石川地方身体障がい者福祉会及び平田村身体障がい者福祉会の会長として身体障がい者福祉の推進に尽力した功績が称えられ表彰されました。



若い力が村づくりにつながる

日本大学工学部とのタイアッププロジェクトが10月15日・16日、乙空釜地区で開催されました。

学生との協働事業は3年ぶりの開催となり、今回は日本大学工学部と長岡工業高等専門学校が共同で開催中の橋の簡易点検アップの試行や清掃活動を地域住民と共に実施しました。

15日は乙空釜地区内の玉川村に繋がる村道の生コン舗装を、16日は同地区内の荻ノ目橋等で、橋のセルフメンテナンスに取り組みました。参加者は日本大学工学部の岩城教授をはじめ東京工業大学と鳥取大学の教員、各大学の学生、乙空釜行政区の住民の総勢33人が集まり、協働の地域づくりとなりました。



本事業が開始した平成24年から携わっている浅野和可奈さんが博士号を取得しました。



建設業協力会奉仕作業

道路環境保全の奉仕作業が11月10日、村内の建設事業社8社で組織する平田建設業協力会により行われました。

この奉仕作業は、地元住民への感謝と、安全で快適な道路機能の維持を目的に毎年取り組まれているものです。

役場で行われた出発式では、笠巻正夫会長（有笠巻開発工業）が「怪我や事故の無いように作業を行ってほしい。」と挨拶を述べ、各社がバックホウ等の重機を持ち込み、路肩の補修や水路の土砂撤去作業を実施しました。



自衛隊員の身近な存在として

平田村自衛隊家族会の視察研修が10月8日、陸上自衛隊福島駐屯地で行われました。

この会は、国民の防衛意識の高揚や自衛隊に対する理解・協力・支援のために発足したもので、村出身自衛隊員の家族で構成されており、視察研修は3年ぶりの実施となりました。

当日は、創立69周年記念行事が開催されており、空砲を使用した迫力ある模擬戦闘訓練や東北地方唯一のファンシードリル隊の演奏、装備品の展示などを視察しました。



模擬訓練の様子



平田村自衛隊家族会のみなさん

火災災害に備えて

消防団の秋季訓練が11月13日、村内各地で行われました。

新型コロナウイルス感染予防の観点から、昨年に引き続き、各分団ごとに各地域で放水訓練や規律訓練などを実施しました。

団員は「自分たちの地域は自分たちで守る」消防精神で、真剣に訓練に臨んでいました。訓練終了後は、地元の消火栓や防火水槽の点検を実施し、火災・災害への備えを再確認しました。



安心安全な通学路に

平田村防犯指導隊による防犯パトロールが10月27日、ひらた清風中学校通学路で行われました。

中学校周辺の夜間における危険箇所の確認と、帰宅時における生徒たちへの注意喚起を実施することで犯罪や事故が起きにくくなることを目的とし、隊長の澤村兼人さん（蓬田新田）をはじめ、阿部勝美さん（上蓬田）、吉田昌樹さん（小平）、石川警察署平田駐在所の皆さんが通学路を歩き、生徒たちへ事故防止などを呼びかけました。

